

平成26年度 第8回 市政経営会議 審議結果

(全庁にかかる経営戦略会議審議案件)

日時：平成26年8月27日（水）9：00～9：40

場所：5階庁議室

【議題】 熊本市東アジア戦略の中間見直しについて

【提案局】 観光文化交流局（シティプロモーション課）
説明者：坂本観光文化交流局長

【出席者】 幸山市長、高田副市長、牧副市長、大杉議会事務局長、飯銅総務局長、萱野企画振興局次長、木下財政局長、宮本健康福祉子ども局長、石櫃環境局長、多野農水商工局長、坂本観光文化交流局長、永山都市建設局長、前渕中央区長、西島東区長、永田西区長、永目南区長、田上北区長、大塚消防局長、西本交通事業管理者、寺田上下水道事業管理者、池田病院局事務局長、岡教育長

【付議内容】 熊本市東アジア戦略の中間見直し（素案）について確定したい。

【資料】 ◇付議事項調書（様式1）
◇戦略の中間見直しにあたって（資料1-1）
◇熊本市東アジア戦略（平成22年3月策定）（資料1-2）
◇熊本市東アジア戦略（資料1-3）
◇熊本市東アジア戦略 中間見直し（概要版）（資料1-4）
◇統計資料【参考1】
◇東アジア戦略 有識者へのヒアリング【参考2】
◇政策調整会議内容検討表（様式4）

【審議結果】 ◆一部修正のうえ了承

【議事概要】 ◇熊本市東アジア戦略の中間見直し（素案）について、以下の点に対応の上、了承とする。

- ・MICE誘致について記載を追記するだけでなく、外郭団体等と連携を強化し、誘致の実現に繋げること。
- ・環境先進都市に関する取り組みにおいては、関係局と連携及び認識の共有を図り、発信力を高めること。
- ・表記について改めて検討し、必要に応じ修正すること。

【審議の経過】◇MICE誘致についてはどのように考えているか。(木下財政局長)

⇒コンベンション協会をはじめ、くまもとMICE誘致推進機構やMICE施設の指定管理者と体制の強化を図って行きたいと考えており、くまもとMICE誘致推進機構の活動についての具体的な記述を行うこととする。(井本シティプロモーション課長)

⇒その記載は資料 22 ページの推進体制にも必要である。(萱野企画振興局次長)

⇒追記する。(井本シティプロモーション課長)

⇒表現だけの問題にせず、今後、一層の推進を図ること。(幸山市長)

◇4番目の柱については、水銀条約に関して、環境先進都市と言えるような事をやっているのかということもあるし、地下水についても発信力の弱さが否めない。アジアの中で認められるような発信力が必要であり、環境局においても、熊本の中だけでの取組ではなく、広くアピールしていくという意識を持って取組んで頂きたい。(幸山市長)

◇資料 20 ページの「現状と課題」において、世界、東アジア、本市それぞれの環境問題と保全の取り組みに関する文脈が不自然である。(木下財政局長)

⇒地下水や水銀に関する今後の新たな取り組みを追記しているため、「今後、」以降の3行を削除しても影響は無いと考える。(井本シティプロモーション課長)

◇資料 22 ページ、2 多様な都市連携の推進、「今後の交流都市等の～」についての記載は必要か。(木下財政局長)

⇒中国においては、協定がないと交流が難しい傾向があるため、具体的な成果が見込める場合に協定を締結するという考えを示しているもの。(井本シティプロモーション課長)

⇒戦略に記載すべきか改めて検討すること。(幸山市長)

◇学術都市づくりの今後の戦略として、国際機関や国の機関、シンクタンクなどを誘致するという考えはないか。また、これらの機関はコンベンションの主体にもなり得ると考える。(永目南区長)

⇒その辺の認識は十分にあり、「研究機関や人材の集積を図る」と記載している。(井本シティプロモーション課長)